

年間授業計画

荻窪高等学校 令和4～7年度入学生用

教科 地歴歴史

科目 地理総合

教科: 地歴歴史 科目: 地理総合 単位数: 2 単位

対象学年組: 第1学年 1組～ 8組

教科担当者: (1～6組: 福島) (7・8組: 吉嶋)

使用教科書: (新地理総合 帝国書院)

教科 地歴歴史 の目標:

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養おうとする気持ちを学習活動の中で示していくことができる。

科目 地理総合 の目標:

Table with 3 columns: 【知識及び技能】、【思考力、判断力、表現力等】、【学びに向かう力、人間性等】. It details learning objectives for each category, such as understanding geographical concepts and using maps/data.

Main curriculum table with columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 評価規準, 知, 思, 態, 配当時間. It lists units A through J, covering topics like Earth's position, maps, GIS, and global issues, with corresponding learning goals and assessment criteria.





年間授業計画

菟道高等学校 令和4～7年度入学生用

教科 地理歴史 科目 時事問題

教科：地理歴史 科目：時事問題 単位数：2 単位

対象学年組：第4学年 1組～8組

教科担当：(1～3組：岡田) (4～8組：清水)

使用教科書：(新星出版社『図解』まるわかり時事用語)

教科「地理歴史」の目標：

【知識及び技能】日本及び世界の歴史を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の特色や相互の関連を考察し、それを説明したり議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、日本国民としての自覚、世界の多様な生活文化を尊重する態度を養う。

科目「時事問題」の目標：
【知識及び技能】 国家及び社会の形成者として必要な選択、判断の基礎となる考え方や政治、経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを客観的に判断して、善い形や社会参画に向かう力を養わせる。
【思考力、判断力、表現力等】
【学びに向かう力、人間性等】

Table with 5 columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 評価規準, 知, 思, 感, 配当時間. Rows include 1学期 (消費者問題, 労働問題) and 2学期 (社会保障の役割と課題, 国際社会と国際法).

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和7年度 地理歴史科「世界史A」 年間授業計画

教科： 地理歴史 単位数：2単位

対象学年組： 第5学年7～8組

教科担当者： (7～8組：宮下 )

使用教科書： (明解 世界史A (帝国書院) )

使用教材： ( )

	指導内容	#REF!	評価の観点・方法	配当 時数
4月	1章 前近代の諸文明 序節 人類の始まり	人類の登場と、農耕・牧畜による食料生産を基礎にして、人類が文明を築き、歴史時代へはいついっていきりさまを地域ごとに概観し、各地域世界が形づくられていく過程を理解する。	【関】人類の発生・進化の過程や農耕・牧畜による食料生産革命、文明の成立などについて関心を高め、意欲的に追究するとともに、人類史について考えようとしている。 【思】人類の登場、食料生産革命、文明の成立などについて考察・表現している。 【技】人類の登場、食料生産革命、文明の成立などに関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。	4
5月	1章 前近代の諸文明 1節 東アジアの文明 定期考査①	東アジアの風土と諸民族、封建制度、漢字文化圏、儒教思想、律令体制、文治主義、冊封体制などを通して、日本を含む東アジアの文明の特質を理解する。	【関】東アジアの風土・生活・言語・思想などについて関心を高め、意欲的に追究するとともに、東アジアの特質について考えようとしている。 【思】東アジアの風土・生活・言語・思想などについて考察・表現している。 【技】東アジアの風土・生活・言語・思想などに関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 【知】日本を含む東アジアの文明の特質(封建制度、漢字文化圏、儒教思想、律令体制、文治主義、冊封体制)などを構造的視野から把握し、基本的知識を身につけている。	8
6月	1章 前近代の諸文明 2節 南アジアの文明 定期考査②	南アジアの風土と諸民族、カースト制、仏教、ヒンドゥー教、イスラームの影響などを通して、南アジアの文明の特質を理解する。	【関】南アジアが、宗教と社会制度を共通の基盤として一つの社会が形づくられたことについて関心を高め、意欲的に追究するとともに、南アジアの特質について考えようとしている。 【思】南アジアが宗教と社会制度を共通の基盤として一つの社会が形づくられたことについて考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】南アジアが、宗教と社会制度を共通の基盤として一つの文明を形成したことに関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 【知】南アジアの文明の特質(カースト制、仏教、ヒンドゥー教、イスラームの影響など)を構造的視野から把握し、基本的知識を身につけている。	10
7月	1章 前近代の諸文明 3節 東南アジアの文明 定期考査③	自然環境や地理的位置に着目し、インドと中国のはざまにあるため、両文明の影響を受けながら、それぞれの地域で多様な社会・文化を築いていった東南アジアの特質を理解する。	【関】東南アジアの風土・生活・文化などについて関心を高め、意欲的に追究するとともに、東南アジア世界の特質について考えようとしている。 【思】東南アジアが独自の文化を生み出したことについて考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】東南アジアに関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 【知】東南アジアの特質(都市や港市のネットワークなどを構造的視野から把握し、基本的知識を身につけている。	6
7月	1章 前近代の諸文明 4節 西アジア・北アフリカの文明	西アジア・北アフリカの風土と諸民族、オリエント文明・イラン文明の伝統にふれ、基層となる西アジアの特質を把握し、イスラームの成立と拡大・分裂などを通して、西アジア・北アフリカの文明の特質を理解する。	【関】西アジア・北アフリカが、さまざまな遊牧民、農耕民、交易民により形成され、拡大したことについて関心を高め、意欲的に追究するとともに、西アジア・北アフリカの特質について考えようとしている。 【思】西アジア・北アフリカが、さまざまな遊牧民、農耕民、交易民により形成され、拡大したことについて考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】西アジア・北アフリカが、さまざまな遊牧民、農耕民、交易民により形成され、拡大したことに関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 【知】西アジア・北アフリカがの成立とその特色、地域的な拡大と独自の世界の形成について、イスラーム国家の柔軟性やムスリム商人の役割などを把握し、基本的知識を身につけている。	6
9月	2章 一体化に向かう世界 1節 繁栄するアジア	アジアのティムール・オスマン・ムガル・明・清などの諸帝国の政治と社会にふれ、この時期に安定した支配と経済の繁栄を背景に、文化も黄金時代を迎えたことを理解する。	【関】成熟期を迎えたアジアの諸帝国に対する関心を高め、意欲的に追究し、その特色について考えようとしている。 【思】成熟期を迎えたアジアの諸帝国の特色について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】成熟期を迎えたアジアの諸帝国の特色に関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 【知】成熟期を迎えたアジアの諸帝国の特色を理解し、その知識を身につけている。	8
10月	3章 欧米の工業化とアジア諸国の動揺 1節 ヨーロッパとアメリカの諸革命 定期考査④	アメリカ諸国の独立、フランス革命、産業革命、拡大する貿易活動などを通して、西ヨーロッパとアメリカに産業社会が成立し、市民社会および国民国家の形成が進行したことを理解する。	【関】18世紀後半から19世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命に対する関心を高め、意欲的に追究し、社会の産業化と国民国家の形成により近代世界が確立したことについて考えようとしている。 【思】18世紀後半から19世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命を考察し、社会の産業化と国民国家の形成により近代世界が確立したことを判断し、一連の思考の過程を適切に表現している。 【技】18世紀後半から19世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命に関する資料を収集し、適切に活用し、社会の産業化と国民国家の形成により近代世界が確立したことを考察する技能を身につけている。 【知】18世紀後半から19世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命について理解し、その知識を身につけている。	8
11月	1章 現代世界の芽生えと世界大戦 2節 第一次世界大戦がもたらしたものの	第一次世界大戦と総力戦としての様相、ロシア革命、ソヴィエト連邦の成立、戦争と革命による国際秩序の変化、アメリカの大衆生活とその波及を通して、20世紀初頭の変化の様相を理解する。	【関】第一次世界大戦の原因と性格、平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、20世紀初頭の変化の様相について考えようとしている。 【思】第一次世界大戦の原因と性格、平和の意義について考察し、20世紀初頭の変化の様相について考察し、一連の思考の過程を適切に表現している。 【技】第一次世界大戦の原因と性格、平和の意義と20世紀初頭の変化の様相に関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 【知】第一次世界大戦の原因と性格、ロシア革命の展開とそれが世界に与えた影響、戦争と革命による国際秩序の変化、国際協調とヴェルサイユ体制、アメリカ的生活様式の資本主義社会への普及について理解し、その知識を身につけている。	8
12月	定期考査⑤ 1章 現代世界の芽生えと世界大戦 3節 “民族自決”を求めて	インド・中東および東アジアの民族運動を通して、“民族自決”を求めたアジアのナショナリズムの動きを理解する。	【関】インド・中東および東アジアの民族運動に対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、“民族自決”を求めたアジアのナショナリズムの動きについて考えようとしている。 【思】インド・中東および東アジアの民族運動について考察し、“民族自決”を求めたアジアのナショナリズムの動きについて考察し、一連の思考の過程を適切に表現している。 【技】インド・中東および東アジアの民族運動と“民族自決”を求めたアジアのナショナリズムの動きに関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 【知】第一次世界大戦後、インド・トルコ・中国などの民族運動が大众的基盤をもち、アジア諸民族の動向が世界史の新しい潮流をつくり出したことを理解し、その知識を身につけている。	8
1月	1章 現代世界の芽生えと世界大戦 4節 経済危機から第二次世界大戦へ	第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響を理解し、平和の意義などについて考察する。2部1章2節とあわせて20世紀前半の国際政治の流れを概観し、国際関係の変遷と社会の特質を理解する。	【関】世界恐慌と資本主義の変容、20世紀前半の国際政治の流れ、第二次世界大戦の原因や性格などに対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、現代の戦争の特質と平和の意義について考え、国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。 【思】世界恐慌と資本主義の変容、20世紀前半の国際政治の流れ、第二次世界大戦の原因や性格、現代の戦争の特質と平和の意義などについて考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】世界恐慌と資本主義の変容、20世紀前半の国際政治の流れ、第二次世界大戦の原因や性格、現代の戦争の特質と平和の意義などに関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 【知】世界恐慌と資本主義の変容、20世紀前半の国際政治の流れ、第二次世界大戦の原因や性格、現代の戦争の特質と平和の意義について理解し、その知識を身につけている。	8
2月	2章 冷戦から地球社会へ 2節 冷戦終結への道のり	1970年代以降は市場経済の世界化をはじめ、米ソのゆらぎや冷戦の終結などから、世界が大きく変容し、今日に至っていることを理解する。	【関】市場経済の世界化、米ソのゆらぎや冷戦の終結などから、1970年代以降の世界の大きな変容に対する関心を高め、意欲的に追究し、考え、国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。 【思】市場経済の世界化、米ソのゆらぎや冷戦の終結などから、1970年代以降の世界の大きな変容について考察し、判断した過程や結果について適切に表現している。 【技】市場経済の世界化、米ソのゆらぎや冷戦の終結などから、1970年代以降の世界の大きな変容に関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 【知】市場経済の世界化、米ソのゆらぎや冷戦の終結などから、1970年代以降の世界の大きな変容について理解し、その知識を身につけている。	8
3月	定期考査⑥ 1年間のまとめ			2

## 年間授業計画様式

## 敦窪高等学校 令和7年度 地理歴史科「日本史A」 年間授業計画

教科： 地理歴史科 科目名：日本史A 単位数：2単位

対象学年組： 再履修)

教科担当者： (Ⅰ・Ⅲ部： 清水 ) (Ⅱ部： 宮下 )

使用教科書： ( 山川出版「改訂版現代の日本史」 )

使用教材： ( )

	指導内容	#REF!	評価の観点・方法	配当 時数
4月	開国と維新	開国とその影響に関して、基礎知識をふまえるとともに大まかな歴史の流れをつかめるようになる	関心・意欲・態度 知識・理解  観察/考査 ワークシート (ノート)	4
5月	開国と維新	江戸幕府滅亡の経過に関して、基礎知識をふまえるとともに大まかな歴史の流れをつかめるようになる	関心・意欲・態度 知識・理解  観察/考査 ワークシート	8
6月	近代国家の形成と発展 産業化の推進と国民生活の変化	明治新政府による近代化政策/自由民権運動/大日本帝国憲法の制定/日清戦争の経過とその影響に関して、基礎知識をふまえるとともに大まかな歴史の流れをつかめるようになる	関心・意欲・態度 知識・理解  観察/考査 ワークシート (ノート)	10
7月	定期考査② 復習	学習内容の整理と、不十分な事項の確認ができる	関心・意欲・態度 知識・理解  観察/考査 ワークシート (ノート)	4
9月	産業化の推進と国民生活の変化	日露戦争の経過とその影響・台湾・朝鮮半島の植民地経営に関して、基礎知識をふまえるとともに大まかな歴史の流れをつかめるようになる	関心・意欲・態度 知識・理解  観察/考査 ワークシート (ノート)	8
10月	第一次世界大戦と大正デモクラシー 定期考査③	第一次世界大戦とその影響/大戦後の外交/大正デモクラシーの展開/世界恐慌と日本への影響に関して、基礎知識をふまえるとともに大まかな歴史の流れをつかめるようになる	関心・意欲・態度 知識・理解  観察/考査 ワークシート (ノート)	10
11月	第二次世界大戦と日本	満州事変/日中戦争/太平洋戦争の勃発/戦後の生活と現代の課題に関して、基礎知識をふまえるとともに大まかな歴史の流れをつかめるようになる	関心・意欲・態度 知識・理解  観察/考査 ワークシート (ノート)	8
12月	定期考査④ 復習	学習内容の整理と、不十分な事項の確認ができる	関心・意欲・態度 知識・理解  観察/考査 ワークシート (ノート)	6
1月	占領下の日本 日本の自立と経済成長 (卒業考査)	占領政策の展開/戦後民主主義の定着/55年体制の成立/安保体制化の日本に関して、基礎知識をふまえるとともに大まかな歴史の流れをつかめるようになる	関心・意欲・態度 知識・理解  観察/考査 ワークシート (ノート)	6
2月	現代の日本	21世紀を迎えてに関して、基礎知識をふまえるとともに大まかな歴史の流れをつかめるようになる	関心・意欲・態度 知識・理解  観察/考査 ワークシート (ノート)	8
3月	定期考査⑤ 復習	学習内容の整理と、不十分な事項の確認ができる	関心・意欲・態度 知識・理解  観察/考査 ワークシート (ノート)	6